

認定番号 Pg0232-2

Japan Council for Evaluation of Postgraduate Clinical Training

JCEP

認定証

Certificate of Accreditation Postgraduate Clinical Training Program

医療法人徳洲会

病院名

東京西徳洲会病院 殿

貴病院は特定非営利活動法人 卒後臨床研修評価機構の定める認定基準を達成していることを証します

認定 (4年)

有効期間

2018年2月1日から

2020年1月31日まで

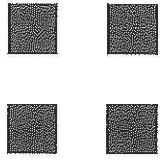
発行日

2018年2月1日

特定非営利活動法人 卒後臨床研修評価機構  
Japan Council for Evaluation of Postgraduate Clinical Training

理事長 高久史磨  
評価委員長 有賀 徹





Japan Council for Evaluation of Postgraduate Clinical Training

JCEP

## 臨床研修評価 調査結果報告書

*Pg20170068*

**医療法人徳洲会 東京西徳洲会病院**

---

東京西徳洲会病院初期臨床研修プログラム

平成 30 年 1 月 23 日

NPO 法人 卒後臨床研修評価機構

## ご挨拶

日頃から、NPO 法人 卒後臨床研修評価機構の事業の運営に当たりましては、何かとご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、貴院の臨床研修における調査結果を報告申し上げます。

当評価機構は、臨床研修プログラムを中心とした第三者による臨床研修評価を行い、医療の発展に寄与するとともに、臨床研修病院群の質の向上を図ることを目的としています。本調査から得られた結果が、今後の貴院における臨床研修の質の向上のために資することになりますれば幸甚です。

また、本評価機構は評価体系、および臨床研修評価を実施するうえでの諸問題等について研究し、このような研究活動を通して医療の質の向上と社会貢献を目指します。本調査結果、および評価項目等についてのご意見やご要望をいただくことができましたら誠にありがたく存じます。

今後とも、宜しくご支援とご協力を賜りますよう、重ねてお願い申し上げます。

末筆になりましたが、貴院の一層のご発展をお祈り申し上げます。

平成 30 年 1 月 23 日

NPO 法人 卒後臨床研修評価機構

理事長 高久 史 麿

評価委員長 有 賀 徹

## 臨床研修評価 調査結果報告書について

## ▶報告書の構成

1. 対象病院ならびにプログラム名
2. 臨床研修指定区分
3. 評価のまとめ※1
4. 大項目別評価※2
5. 評価結果一覧※3

## ※1 評価のまとめ

病院の臨床研修病院としての役割や性格を踏まえたうえで、主に臨床研修プログラムを中心とした所見を述べています。

大項目間の評価結果の相対的なバランスについて指摘すべきことがある場合は、その点についても記述してあります。

## ※2 大項目別評価

大項目別に、中項目の評価結果を「適切と評価された項目」と「検討を要する内容が見られた項目」、および「改善を要すると評価された項目」として示したものです。

## ※3 評価結果一覧

- ・各評価項目の評価結果を示したものです。
- ・中項目評価は3段階で行われ「適切」、「要検討」、「要改善」で表記しました。
- ・小項目評価は3段階で行われ「a」、「b」、「c」で表記しました。
- ・小項目において「b」、「c」と判定された項目については、所見が記載されます。

## 評価項目の構造

- |               |                            |
|---------------|----------------------------|
| 大項目「Pg.○」     | : 臨床研修評価の対象領域における枠組みを表す項目  |
| 中項目「Pg.○.○」   | : 直接評価の対象となる項目             |
| 小項目「Pg.○.○.○」 | : 各中項目を客観的かつ的確に判定するための指標項目 |

## 臨床研修評価 調査結果報告書

1. 対象病院ならびにプログラム名： 東京西徳洲会病院  
東京西徳洲会病院初期臨床研修プログラム
2. 臨床研修指定区分： 基幹型臨床研修病院

上記について、臨床研修評価について standard:October 2016 を用いて行いましたので、その結果の概要を報告いたします。

## 3. 評価のまとめ

貴院は東京都北多摩西部医療圏において、地域に密着した総合病院として年間約 7500 台の救急搬送患者を受け入れ急性期医療を担っています。診療科間の垣根が低く、相談しやすい雰囲気の中で少数の研修医が伸び伸びと研修しています。このような望ましい環境は高く評価するところです。しかし検討を要する点も多々あります。研修管理委員会には精神科や小児科などの研修を行う協力施設の研修実施責任者も実際に参加し、研修状況について情報共有を行うことが望まれます。標準的な形式に則った研修プログラムについては研修プロセスに沿った形で作成することや、必修科目において指導医を確保することは早急に取り組むべき課題です。剖検症例が少ない中で、それを補完する全診療科的な死亡症例検討会等を開催することについても検討ください。一般外来研修については、必修内科での充実が望まれます。総合診療、予防医療の研修を充実させるための今後の取り組みを期待します。既に研修体制の整備を始めておられますので、それらを継続し貴院のルールとして定着させることが求められます。そのような過程を経て貴院がより優れた臨床研修病院に発展されることを祈念いたします。

## 4. 大項目別評価

## Pg.1 臨床研修病院としての役割と理念・基本方針

## 【適切と評価された項目】

Pg.1.2 臨床研修病院としての役割が明確になっている

## 【検討を要する内容がみられた項目】

Pg.1.1 臨床研修の理念・基本方針が確立されている

## 【改善を要すると評価された項目】

特になし

## Pg.2 臨床研修病院としての研修体制の確立

## 【適切と評価された項目】

## 【検討を要する内容がみられた項目】

Pg.2.1 研修管理委員会が確立している

Pg.2.2 臨床研修が組織的・計画的になされる体制がある

## 【改善を要すると評価された項目】

特になし

## Pg.3 臨床研修病院としての教育研修環境の整備

## 【適切と評価された項目】

Pg.3.2 患者の診療に関する情報を適切に管理している

Pg.3.4 研修をサポートするための設備が整備されている

## 【検討を要する内容がみられた項目】

Pg.3.1 臨床研修病院としての教育研修体制が適切である

Pg.3.3 医療に関する安全管理体制の確保がなされている

## 【改善を要すると評価された項目】

特になし

## Pg.4 研修医の採用・修了と組織的位置付け

## 【適切と評価された項目】

Pg.4.2 研修医の募集および採用が計画的になされている

Pg.4.3 研修医の研修規程が明確である

## 【検討を要する内容がみられた項目】

Pg.4.1 研修医の募集・採用の方法が適切である

Pg.4.4 研修医に対する適切な処遇が確保されている

Pg.4.5 臨床研修の修了の手続きが適切である

Pg.4.6 個々の研修医に関する研修記録等が整理・保管されている

## 【改善を要すると評価された項目】

特になし

## Pg.5 研修プログラムの確立

## 【適切と評価された項目】

--

## 【検討を要する内容がみられた項目】

Pg.5.1 研修プログラムが適切に策定されている

Pg.5.2 研修プログラムが研修プロセス(計画、目標、方略、評価)に沿って実施され、評価されている

Pg.5.3 「医療人として必要な基本姿勢・態度」が身につけられる内容がプログラムの中に適切に組み込まれている

Pg.5.4 「経験すべき診察法・検査・手技」が身につけられる内容がプログラムの中に適切に組み込まれている

Pg.5.5 経験すべき症状・病態・疾患について鑑別診断、初期治療を行う能力が身につけられる内容が適切に組み込まれている

## 【改善を要すると評価された項目】

特になし

## Pg.6 研修医の評価

## 【適切と評価された項目】

--

## 【検討を要する内容がみられた項目】

Pg.6.1 研修医を評価するシステムが確立され、実施されている

Pg.6.2 研修医ごとに評価結果に応じて研修医への対応が適切になされている

## 【改善を要すると評価された項目】

特になし

## Pg.7 研修医の指導体制の確立

## 【適切と評価された項目】

Pg.7.2 研修医が行う診療行為に対してチェックする体制がある

Pg.7.3 臨床研修指導医の評価が適切に行われている

## 【検討を要する内容がみられた項目】

Pg.7.1 指導体制・診療上の責任者が明示されている

## 【改善を要すると評価された項目】

特になし

## Pg.8 修了後の進路

## 【適切と評価された項目】

Pg.8.1 自施設や他施設でその後の研修が継続できるように配慮している

Pg.8.3 修了した医師の生涯にわたるフォロー体制がある

## 【検討を要する内容がみられた項目】

Pg.8.2 正規の職員として採用されるシステムが整備されている

## 【改善を要すると評価された項目】

特になし



## 5. 評価結果一覧

Pg.1	臨床研修病院としての役割と理念・基本方針	
	針	
Pg.1.1	臨床研修の理念・基本方針が確立されている	要検討
		「医師としての人格の涵養」は医師臨床研修制度の根幹となる考え方であり、理念・基本方針にそのことを明示することについて検討されたい
Pg.1.1.1	理念・基本方針が明文化されている	b
		理念・基本方針の中で「医師としての人格の涵養」について言及されていない
Pg.1.1.2	院内および臨床研修病院群間で周知・徹底されている	a
Pg.1.1.3	必要に応じて見直されている	a
Pg.1.2	臨床研修病院としての役割が明確になっている	適切
Pg.1.2.1	自院の臨床研修における役割・機能の範囲が適切である	a
Pg.1.2.2	自院の臨床研修における役割・機能の範囲が地域に周知・徹底されている	a
Pg.1.2.3	自院の臨床研修における役割・機能について、地域からの声に耳を傾けている	a

Pg.2 臨床研修病院としての研修体制の確立		
Pg.2.1	研修管理委員会が確立している	要検討 研修管理委員会の委員構成は適切であるが、精神科や小児科の研修を行う協力施設の研修実施責任者には出席してもらい、研修状況について情報共有を行うことが望まれる。関係者が参加できるような日程の設定などの工夫について検討されたい
Pg.2.1.1	研修管理委員会があり、総括責任者・委員の構成が明文化されている	a
Pg.2.1.2	研修管理委員会の規程がある	a
Pg.2.1.3	研修管理委員会は定期的に開催され、機能している	b 研修管理委員会は委任状の提出が多く、院外委員については限られた委員が出席しているのみである
Pg.2.2	臨床研修が組織的・計画的になされる体制がある	要検討 研修が行われる診療科には指導医講習会を修了した指導医を確保することについて検討されたい
Pg.2.2.1	計画的に実施するための事務担当者が確保され、機能している	a
Pg.2.2.2	研修プログラムごとにプログラム責任者が確保され、機能している	a
Pg.2.2.3	必要な臨床研修指導医が確保されている	b 必修の研修分野である救急部門に、指導医講習会を修了した指導医が確保されてはいない

Pg.3	臨床研修病院としての教育研修環境の整備	
Pg.3.1	臨床研修病院としての教育研修体制が適切である	要検討 一般外来を研修できるよう、教育研修体制の整備が望まれる。剖検例が少ないので、CPC の補完となる全科参加型のデスクカンファレンスなどを開催することについて検討されたい
Pg.3.1.1	一般外来研修が適切に行えるよう外来部門での教育研修体制が整備され、適切に運営されている	b 外科病棟から退院後の一部の患者に対して研修医が再診を行う機会はあるものの、一般外来研修体制が体系的に整備されているとは言えない
Pg.3.1.2	救急医療分野の研修ができる環境となっている	a
Pg.3.1.3	レポートを求められている症例が確保されている	a
Pg.3.1.4	臨床病理検討会（CPC）が適切に開催されている	b 剖検数が少なく、CPC は年 1 回程度である。死亡症例の検討は行われているものの、診療科内のカンファレンスで取り上げられているのみである
Pg.3.2	患者の診療に関する情報を適切に管理している	適切
Pg.3.2.1	専任の診療情報管理者が配置されている	a
Pg.3.2.2	診療に関する諸記録の管理が適切になされている	a
Pg.3.3	医療に関する安全管理体制の確保がなされている	要検討 薬剤部門など他部門からの疑義照会などを契機としてインシデントレポートを研修医が自ら記載するように指導することが望まれる。研修医が委員として院内感染対策関連の委員会に出席する仕組みを今後とも継続されたい
Pg.3.3.1	安全管理者を配置している	a
Pg.3.3.2	安全管理部門がある	a
Pg.3.3.3	臨床研修における安全確保のための活動が行われている	b 研修医の作成すべきインシデントレポートについて薬剤部が代わりに記載しているものがある

Pg.3.3.4	研修医の医療事故発生時の対応体制が確立している	a	
Pg.3.3.5	組織的に施設関連感染対策が行われている	b	最近になってようやく研修医を感染対策に関する委員会の委員として任命し出席させるルールとなったところである
Pg.3.3.6	患者相談窓口がある	a	
Pg.3.4	研修をサポートするための設備が整備されている	適切	
Pg.3.4.1	図書・雑誌・インターネット利用環境が整備されている	a	
Pg.3.4.2	研修医のために病院内での個室性が配慮されている	a	
Pg.3.4.3	医学教育用シミュレーター、医学教育用ビデオ等の機材が活用されている	a	

Pg.4	研修医の採用・修了と組織的な位置付け	
Pg.4.1	研修医の募集・採用の方法が適切である	要検討 研修プログラムは研修分野ごとにGIO、SBOs、LS、Evを表記することが望まれる。また、研修プログラム全体について追加、修正することを検討されたい
Pg.4.1.1	研修医の公募規程がある	a
Pg.4.1.2	研修プログラム等が公表されている	b 研修プログラムにLSが明示されていない研修分野が少なくない。また Evについては評価票のみで評価方法について言及されていない研修分野がある
Pg.4.1.3	研修医の採用試験が適正に行われている	a
Pg.4.1.4	採用辞令が適切に発行されている	a
Pg.4.2	研修医の募集および採用が計画的になされている	適切
Pg.4.2.1	募集および採用について計画的になされている	a
Pg.4.2.2	募集および採用についての結果が評価され見直されている	a
Pg.4.3	研修医の研修規程が明確である	適切
Pg.4.3.1	研修医の研修規程がある	a
Pg.4.3.2	研修医が患者を担当する場合の役割が明示されている	a
Pg.4.3.3	病棟、手術室、救急室、一般外来、当直等における研修実務に関する規程があり支援及び指導体制が明文化されている	a
Pg.4.4	研修医に対する適切な処遇が確保されている	要検討 医師の当直に関連して、少なくとも研修医については当直明けの勤務状況を把握すること、当直回数の上限定とを検討されたい。時間外手当については、病院内で労働性のある業務と研修(学習)との区分を議論するなどした上で、明文化することについて検討されたい

Pg.4.4.1	研修医の位置付け・処遇に関する規程が明確になっている	a	
Pg.4.4.2	定期的に健康管理が行われている	a	
Pg.4.4.3	当直・時間外研修の際の処遇に配慮がなされている	b	研修医規程には「所定時間外に就業させることがある」となっているが、時間外勤務手当が支給されていない。また、研修医によっては月 10 回程度の当直を行っている
Pg.4.5	臨床研修の修了の手続きが適切である	要検討	協力施設等で研修を行った場合には、施設名だけでなく当該研修分野と期間については記載した証明書を発行することについて検討されたい
Pg.4.5.1	研修管理委員会に研修医ごとの評価・報告が適切に行われている	a	
Pg.4.5.2	必要事項の記載された臨床研修修了証が適切に発行されている	b	臨床研修修了証に協力施設名は記載されているが、当該研修分野、研修期間が明示されていない
Pg.4.5.3	修了が認められない場合の手順が確立している	a	
Pg.4.6	個々の研修医に関する研修記録等が整理・保管されている	要検討	個人情報の守秘義務に関する規程を明文化することについて検討されたい
Pg.4.6.1	研修を受けたすべての研修医（中断者を含む）についての記録が整理・保管されている	b	個人情報の守秘義務に関する規程について明文化されていない
Pg.4.6.2	記録の内容が適切である	a	

Pg.5	研修プログラムの確立	
Pg.5.1	研修プログラムが適切に策定されている	要検討 理念・基本方針の中に「人格の涵養」を明示することが望まれる。研修プログラム全体を見直して、研修分野ごとにLSなどの必要項目を系統的に記載することについても検討されたい
Pg.5.1.1	理念・基本方針に沿った研修プログラムである	b 理念・基本方針の中に「人格の涵養」が含まれていない
Pg.5.1.2	研修プログラムには必要事項が明示されている	b 内科、救急科など必修分野の研修プログラムにSBOsに対応したLSが明示されていない
Pg.5.1.3	研修プログラムが研修医一人ひとりに周知されている	a
Pg.5.1.4	研修医が積極的に研修プログラムを選択し研修に取り組む体制が確保されている	a
Pg.5.2	研修プログラムが研修プロセス（計画、目標、方略、評価）に沿って実施され、評価されている	要検討 研修分野ごとにLSを明示し、それと整合性のあるスケジュールを設定することについて検討されたい
Pg.5.2.1	プログラムごとに内容に適した研修期間（スケジュール）が設定され、目標を達成できるよう実施されている	b 研修プログラムに週間スケジュールの記載はあるが、LSについては記載されていない
Pg.5.2.2	研修プログラムの評価が行われている	a
Pg.5.3	「医療人として必要な基本姿勢・態度」が身につけられる内容がプログラムの中に適切に組み込まれている	要検討 一般外来を研修できるよう検討されたい。医療安全に関する委員会および安全に関する研修会へ研修医の代表が参加することも検討されたい。また、研修医が参加したカンファレンスの記録を残すことについても検討されたい
Pg.5.3.1	基本的姿勢・態度について身につけられる内容が組み込まれている	b 一般外来を体系的に研修する仕組みとはなっていない
Pg.5.3.2	インフォームド・コンセントについて身につけられる内容が組み込まれている	a

Pg.5.3.3	問題対応能力を修得する研修（EBM の実践・生涯自己学習習慣・患者への対応）が組み込まれている	a	
Pg.5.3.4	安全管理についての研修（安全な医療の遂行・危機管理参画・安全確認・施設関連感染対策）が組み込まれている	b	研修医の医療安全講習会への出席が少ない。最近になって医療安全に関する委員会への出席を義務付けたところである
Pg.5.3.5	症例呈示と意見交換を行う研修（カンファレンス・学術集会）が組み込まれている	b	各研修分野でのカンファレンスや多職種カンファレンスに参加しているが、それらの記録が残っていない
Pg.5.3.6	地域医療（地域包括ケア、プライマリ・ケア）が組み込まれている	a	
Pg.5.3.7	医療の社会性について身につけられる内容がプログラムの中に適切に組み込まれている	a	
Pg.5.4	「経験すべき診察法・検査・手技」が身につけられる内容がプログラムの中に適切に組み込まれている	要検討	基本的な身体診察法を学ぶために総合診療の研修を組み込むことについて検討されたい
Pg.5.4.1	診療における医療面接（对患者：コミュニケーションスキル、聴取・記録、指示・指導）が組み込まれている	a	
Pg.5.4.2	基本的診療能力が身につけられる内容が適切に組み込まれている	a	
Pg.5.4.3	基本的な身体診察法（病態把握、全身観察、頭頸部、バイタルサインと精神状態、皮膚）が組み込まれている	b	総合診療を体系的に研修することとは必ずしもなっていない
Pg.5.4.4	基本的臨床検査（検査適応判断、実施、結果解釈）が組み込まれている	a	
Pg.5.4.5	基本的手技（手技の適応決定・実施）が組み込まれている	a	
Pg.5.4.6	基本的治療法（治療法の適応決定・実施）が組み込まれている	a	



Pg.5.4.7	医療記録（診療録・処方箋・指示箋、診断書、死亡診断書、証明書、CPC レポート、紹介状と返信）を適切に記載する仕組みがある	a	
Pg.5.4.8	診療計画（診療計画作成、CP 活用、入退院判断、QOL を含めた総合的管理計画への参画）を適切に作成し、評価する教育が組み込まれている	a	
Pg.5.5	経験すべき症状・病態・疾患について鑑別診断、初期治療を行う能力が身につけられる内容が適切に組み込まれている	要検討	研修レポートは指導医と討論を行った上で作成することが望まれる。また地域・保健事業、食事・生活習慣指導など、広い意味での予防医療が経験できる研修プログラムに組み込むことについても検討されたい
Pg.5.5.1	頻度の高い症状について組み込まれている	a	
Pg.5.5.2	緊急を要する症状・病態について組み込まれている	a	
Pg.5.5.3	経験が求められる疾患・病態について（患者を受け持ち診断・検査・治療方針、術後管理等の症例レポートが）組み込まれている	b	研修レポートから指導医との討論のあとが読み取れない
Pg.5.5.4	特定の医療現場の経験（救急医療、予防医療、地域医療、周産・小児・成育医療、精神保健・医療、緩和ケア・終末期医療）が組み込まれている	b	予防接種については経験できているが、広く予防医療を経験する仕組みとは必ずしもなっていない

Pg.6 研修医の評価		
Pg.6.1	研修医を評価するシステムが確立され、実施されている	要検討 看護部門の評価者について、研修医への十分な周知が望まれる。研修医の自己評価基準を段階的評価にし、また時期を変えて再評価するなど、達成度が確認できる形成的な評価システムになるように検討されたい
Pg.6.1.1	評価者が明確で、評価者の構成が適切である	a
Pg.6.1.2	評価項目・基準が明確で、全体的な項目の構成が適切である	a
Pg.6.1.3	評価者・評価項目が研修医に周知されている	b 看護部門の評価者について研修医への周知が十分とは言えない
Pg.6.1.4	研修医の評価が適切に行われている	b 医療人として必要な基本姿勢・態度などについての自己評価票が、段階的評価ではなく可否を問う〇×式の評価方法になっている
Pg.6.2	研修医ごとに評価結果に応じて研修医への対応が適切になされている	要検討 自己評価、指導医による評価、指導者による評価、相互評価などと、適切な形成的評価を行い、研修医へのフィードバックを行う仕組みを構築することについても検討されたい
Pg.6.2.1	評価結果が報告され、適切な指導がなされている	b 研修分野ごとの達成度や評価について、研修医に十分にフィードバックされているとはいえない
Pg.6.2.2	研修実績が基準に満たない場合の対応が決められている	a

Pg.7	研修医の指導体制の確立	
Pg.7.1	指導体制・診療上の責任者が明示されている	要検討 必修診療科はもちろんのこと、研修医が選択する診療科では指導医講習会を修了した指導医のもとで研修が行われることが求められるので検討されたい
Pg.7.1.1	研修分野ごとに指導体制と臨床研修指導医、その他の指導者が明確になっている	a
Pg.7.1.2	臨床研修指導医の役割が明示され、実践されている	b 救急科に指導医講習会修了の指導医が確保されていない
Pg.7.1.3	適任の臨床研修指導医が指導を行う体制が確保されている	a
Pg.7.1.4	指導者が指導を行う体制が確保されている	a
Pg.7.2	研修医が行う診療行為に対してチェックする体制がある	適切
Pg.7.2.1	研修医の診療行為について指導医の指導を受ける体制が具体的に決められている	a
Pg.7.2.2	研修医の記載した診療録を適切にチェックし指導する仕組みがある	a
Pg.7.2.3	研修の記録について指導し、評価がなされる体制がある	a
Pg.7.3	臨床研修指導医の評価が適切に行われている	適切
Pg.7.3.1	評価方法が明確である	a
Pg.7.3.2	評価結果に対する検討が行われ、活用されている	a

Pg.8	修了後の進路		
Pg.8.1	自施設や他施設でその後の研修が継続できるように配慮している	適切	
Pg.8.1.1	専門研修の情報提供や適切な評価による紹介がなされている	a	
Pg.8.2	正規の職員として採用されるシステムが整備されている	要検討	規程をつくるなど研修医を専攻医として採用する仕組みを整備することについて検討されたい
Pg.8.2.1	システムが明文化されている	b	専攻医の採用に関する規程がない
Pg.8.2.2	採用した実績がある	b	専攻医として採用した実績がない
Pg.8.3	修了した医師の生涯にわたるフォロー体制がある	適切	
Pg.8.3.1	システムが明文化されている	a	